

広島県及び栃木県における女児殺傷事件について（アピール）

この度、連続して発生した広島県及び栃木県の女児殺傷事件は、社会に大きな衝撃と深い悲しみをもたらしております。特に通学途上で発生した事件だけに、私たちPTAは、わが子が当事者になることの危惧を感じざるを得ません。再三繰り返されるこの種の事件に怒りを覚えながら、学校や通学時の安全は、学校、保護者及び地域社会に責任があるとの自覚に立ち、不断なくお互いが連携して防犯対策に努めることが肝要であります。

今回の事件に鑑み、緊急に防犯対策の検証と改善策を講じることが必要と考えます。

よって、下記の通りここに提言します。

記

- 学校周辺や通学途上の見回りを行うなどの地域及び保護者の協力体制は整備されているか。（例えば、地域及び保護者の協力によるボランティア活動やスクールバスの活用）
- 保護者と学校が日常的に十分に連携を深め、問題発生時には、双方が即応できるマニュアルが整備されているか。
- 学校、保護者及び地域の代表者と関係諸団体は、常に学校、地域の情報が共有できるように情報交換の場が設置されているか。

平成17年12月6日

社団法人日本PTA全国協議会
会長 赤田英博